

# 特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

## 2024 年度通常総会 補足資料

### ■ 通常総会タイムテーブル（あくまでも目安です。状況により変更となります）

時刻	時間	内容
13:45～14:00	15 分	定足数確認、開会、議長・議事録署名人選出、趣旨説明、役員紹介
14:00～14:40	40 分	第一号議案 2023 年度事業報告並びに決算及び監査報告について
14:40～15:25	45 分	第二号議案 2024 年度事業計画並びに予算について
15:25～15:35	10 分	第三号議案 2024 年度役員の選任について
15:35～15:45	10 分	第四号議案 定款の一部変更について
15:45～16:00	15 分	その他報告、質疑応答・意見交換、閉会

### ■ 「総会議事資料に基づいた意見交換会」ご報告（Q&A 集）

全国 7 地区およびオンライン 1 回の計 8 回開催した「総会議事資料に基づいた意見交換会」での質疑応答を、以下の通りまとめました。

#### 1. ミッション、ビジョン、その他活動全般について

##### 1) 総会資料 P.2、4 行目「FAJ 事業モデル～共通認識をもった～」の共通認識とは何ですか？

→ 昨年度より行ってきた組織改革の検討と、それを踏まえたスタッフ会議での議論を経て改めて目線を合わせた「NPO としての FAJ がどのように社会に貢献しようとしているのか」「実際に貢献している団体であるか」についての考え方のことです。

具体的には下記スタッフ会議の報告書をご確認ください。

[https://www.faj.or.jp/member/uploads/2024/Attachment\\_StaffMeetingReport\\_TotalF1.pdf](https://www.faj.or.jp/member/uploads/2024/Attachment_StaffMeetingReport_TotalF1.pdf)

#### 2. 調査・研究事業について

##### 1) 定例会の参加者が増加している支部はありますか？

→ 年間での定例会への延べ参加者数は、東京支部が増加しています。

#### 3. 教育・普及事業について

##### 1) 公開セミナーの講師を事前に公開しないのはなぜでしょうか？

→ 特別な意図はありません。ご意見として受け止めさせていただきます。

なお、講師が誰かに関わらず、同じ質であることは大前提としておりますことを補足いたします。

#### 4. 支援・助言事業について

##### 1) 支援助言事業計画で「ファシリテーションにとどまらない支援を行います」とありますが、具体的に何を行うのでしょうか。ファシリテーション以外の支援を行うのなら、定款を変更しないといけないのではないのでしょうか。

→ ワークショップ等のファシリテーションの実施提供にとどまらないという意味です。例えば、ファシリテーションサポート委員会では丁寧なヒアリングにより、依頼者の目指す姿を見出すといった相談対応や、災害復興委員会では地域の復旧、復興といった活動の目的の達成に向けた支援を行っています。

2) 能登半島地震の募金を開始したのはなぜでしょうか。繰越金の使用を考えるのが先ではないでしょうか。

→ 計画にない活動の増加が予想されるなかで、繰越金に頼らない持続可能な活動を維持するため、活動資金の募金を開始しました。

また、会員の声として、災害復興委員会の活動応援を通じた被災地支援をしたいという要望などもあり、災害復興委員会と協議の上実施しております。

## 5. 交流・親睦事業について

該当する質問はなし。

## 6. 組織運営に関わる活動について

1) NPOの法的に決められている理事数は何人でしょうか。

→ 原則理事3人以上(2/3は無給で行うことが義務付けられています)です。FAJの定款では理事3人以上15人以内としています。

2) 繰越金を、例えば収入増のための事業を展開するなど、今後どのように活用していく考えが理事会としてあるのでしょうか？

→ 繰越金を財源として新規での事業、活動を計画することは考えていません。あくまでも緊急時の予備費としての活用を想定しています。

3) 物価高やインバウンドで宿泊費の高騰が見られますが、FAJの旅費規定における宿泊費上限の1万円で、個人負担はカバーできているのでしょうか？

→ 経費精算として、上限以上の請求はありません。宿泊費の経費上限については、物価等の状況を見つつ、必要に応じて検討をいたします。

4) スタッフ会議の話で、定例会を道場に、という話があったが、事業計画には記載がありませんでした。定例会についてどのように考えているのでしょうか。

→ 「道場」というのは、あくまでも当日出てきた意見の一つです。もちろん、ここに共感した支部の運営メンバーがそのようなファシリテーターとしての鍛錬の場であることを意識した定例会作りを意識していくことはあると思います。各支部の運営メンバーがそれぞれ思いや課題意識を持ち、定例会作りに取り組んでいることもFAJの強みの一つと考えています。

## 7. 決算、予算について

1) 2023年度の決算で、管理費の交通宿泊費が約500万の予算が実際は710万の支出となっている理由は何でしょうか？

→ 管理費内の交通宿泊費の予実には差異が発生している要因としては、以下の2点があると考えています。

1) 理事会実施時の、理事、監事及び事務局陪席に関わる交通宿泊費の予算精度の問題

2) 拠点活動への理事が参加する際に管理費より支出する事案が発生

1)については、これまで過去実績から大枠での予算確保に留まっており、収支改善のためにも今年度においてはより実態を踏まえた予算化を行っています。

2)については10月理事会にて決議を行いました『拠点活動に対し拠点側が予算化してないものに関しても、必要に応じて管理費からの支出により参加できる』こととしたものが実際に発生いたしました。これに関しても、今年度においては予算確保をしており、このような差異は発生しないと考えています。

- 2) もともと積極予算で2000万の赤字だったのが、700万の赤字になった理由はなんですか？予実管理ができていないのではないのでしょうか？
- 各拠点の予算作成の仕方として、実施の計画はあるとはいえ、確定した内容でないものも多く、過去からの経緯として余裕をもった予算計上がされておりました。また、昨年においては、20周年事業として企画されたものも予算として担保していました。
- そうした中、執行においては各拠点が努力をして毎年支出を抑えていただいていること、また、20周年事業においては企画の詳細検討後にあらためて理事会で確認をしたことや、実際には活動できなかったものがあるなどの理由で乖離していると理解しており、予実管理の問題であるとは認識しておりません。
- 3) 単年で収支を合わせる理由は何でしょうか。繰越金の使い道を考えたほうが良いのではないのでしょうか。
- 会員増の時期（収入増）、コロナでオンラインの活動が中心だった頃（支出減）は黒字での決算が続いていましたが、会員減、対面活動の復活、各種アウトソースの推進などにより現在は構造的に700～800万円程度の赤字体質になっていることがわかりました。これは現状の繰越金を3年で使い切る計算になり、早期に収支を合わせる必要があると考えています。現時点、繰越金は必要な活動を止まらせるようなことのないための予備費として考えています。
- 4) 赤字予算はいつからなののでしょうか。いつまで赤字予算を続けるのでしょうか。
- 2010年頃から約15年にわたり、ほとんどの年度において赤字予算を組んでいましたが、2021年度までは赤字予算黒字決算という状態が続いていました。2022年度からは2年連続決算も赤字となりました。現在のままの収支構造と活動の仕方を踏まえ、今年度も赤字の予算を立てていますが、来年度は収支を改善すべく対策を検討します。
- 5) ファシリテーションの普及という観点から、会員増をめざすべきではないのでしょうか。
- 我々の目指すファシリテーションの普及は会員増のみが実現の形とは考えていません。ミッション達成に向けてあるべき会員規模については、今後議論が必要と考えています。
- 6) マーケティングの観点から、会員の属性情報をつかんでから施策を考えることが有効と考えますが、これまでの入会者の年齢等の属性はつかんでいるのでしょうか。
- FAJとしては会員が入会時に入力した情報のみを保持しており、氏名、住所、メールアドレス、電話番号、業種業態のみです。したがって、性別、年齢などの属性は持っていません。
- 7) 個人会員の収入が10,000円で割り切れないのはなぜでしょうか？
- セミナーの同時入会で、確定後に入会をキャンセルする対応などのイレギュラー対応が原因です。科目確定後のイレギュラー対応により、会計処理上発生したものです。
- 8) 予算にある「NPO保険」とはなんですか？
- コロナ時の各種活動実施時の対策の一つとして2020年度より加入しています。定例会、支部イベントだけではなく委員会活動も含めたFAJ活動全般をカバーし、FAJ行事に参加した非会員の方もカバーするものです。内容の詳細については、このことの再周知を行った2023年10月の理事会議事録 [https://www.faj.or.jp/uploads/secre/rijikai/rijikai\\_20231015.pdf](https://www.faj.or.jp/uploads/secre/rijikai/rijikai_20231015.pdf) をご確認ください。

9) 2024年度予算のその他事業の支出減少の理由はなんですか？

→ 昨年は20周年での新たな活動を想定した予算取りでしたが、今年度に関してはそのような活動がないため減少となっています。

10) 計画上会員数が増える見込みのようですが、その根拠はなんですか？

→ 24年3月時点の会員数で予算を立てています。

11) 会費を上げる予定はあるのでしょうか？

→ 現時点でその予定はありません。

12) 活動の中で、赤字が出ることはあると思いますが、2025年に黒字化に向けた見込みはあるのでしょうか？特に収入増という意味で何か考えはあるのでしょうか？

→ 支出の削減については、今年度検討する予定です。収入増については、ぜひ新たに収入を得られる事業アイデアを出してほしいと思います。

## 8. 広報・コミュニケーション

1) 広報委員会の動画作成予算100万円が昨年度認められたが、理事によって執行を止められたと聞いています。その理由を教えてください。

→ 20周年での活動については、予算計上したものはそのまま執行可能でなく、執行時に再申請、理事会承認というプロセスを設定していました。

動画作成については執行提案がなされておらず、理事会として否決をした事実はありません。

2) 「組織横断に向けた会員データベースの導入」とありますが、どのような情報が共有され、どう活用されるのでしょうか。

→ プライバシーへの配慮なども踏まえつつ、今後検討していきます。

3) FAJ外への発信にマスメディア等を活用する計画はありますか。

→ 活動等の発信に、協会からマスメディアに対して積極的に実施することは、現在のところ検討しておりません。

定例会やイベントの集客のため、拠点において広告予算の範囲内で、地域誌への掲載やPR TIMESを活用する場合は承知しております。

4) ニュースレターについて、かつては年間4号発行していましたが、2023年度の発行は2号にとどまりました。新体制の記事の発行も遅いと感じました。ニュースレターの発行は会員の特典の一つであり、それが実施できていないのではないのでしょうか。理事会としてどのようにとらえていますか。

→ ご指摘の通り昨年度の状況（2号の発行、新体制記事が11月に発行）は会員特典としての要件は満たされておらず、課題として認識しています。委員会の人的資源の不足などもあると思われ、今後広報委員会とともに適切な発行と実現方法を検討したいと考えています。

## 9. 修正動議について

1) 動議を提案した会員と話したのでしょうか？

→ オンラインで会員対象の意見交換の場を実施した際（2023年9月24日）に参加していただきました。

- 2) 修正動議に対する結論が、スタッフ会議で決まったように見受けられます。一般会員はどこまで関わったのかなど決定プロセスをより詳しく教えてほしいです。
- 理事会での議論、動議を提案した会員及び一般会員との対話、各拠点での対話、スタッフ会議での議論を経て、結論を出しました。

## 10. 事業計画前文について

- 1) 「ファシリテーターを生み出し続けていく」の検証方法はなんですか？
- 今回議案として提案している各事業それぞれの計画を実行していくことで、結果として実現される姿として考えています。

## 11. その他

- 1) 他団体で講演するときに、FAJのPRを行ってもよいのでしょうか。何か紹介する際の資料とかはあるのでしょうか。パワーポイントにFAJの資料を引用していいのでしょうか。
- FAJ活動の紹介は是非行っていただきたいです。紹介の際には、活動案内のパンフレットも利用可能です。ご自身が投影するパワーポイント資料での使用については、出典を明確にしてください。また、FAJのロゴを使用する場合は事務局長の許可が必要ですので、お問い合わせください。
- 2) 私の周りの人は、ファシリテーションは知っているのにFAJを知っている人はいません。なぜでしょうか？
- ファシリテーションを知り、実践していただくのがまずは重要です。ファシリテーションを知るきっかけは様々だと思いますが、実践する過程で、FAJと知り合い、ともに活動していける仲間が増えていけばよいと考えています。
- 3) その他の活動において外部との連携・協働という言葉が出ていました。実際に現場で外部と連携を取る時にそれぞれの違いが分かりにくくなると思いますが、意図があるのでしょうか。
- 協働促進プログラムでの活動を想定しています。

## 12. ご意見

意見交換会の中で、以下のようなご意見をいただきましたので、ご紹介いたします。

- ・ 協働促進プログラムはいい加減進めたらどうでしょうか？
- ・ 協働促進とファシサポとの違いが判りづらいです。リソースの取り合いになっていませんか。
- ・ 支部と理事の交流をより進めて欲しいです。
- ・ FAJの設立目的や目的達成のためのこれまでの活動について知る機会が欲しいです。
- ・ ファシリテーターズ・ターミナルの言葉がしっくりきません。
- ・ 定例会は参加費を取ってもいいのではないのでしょうか。
- ・ 基礎セミナー以外にも、参加費を取れるコンテンツ(例：基礎講座を分割して実施する・傾聴のプログラムを開発する)を作ってはどうか。
- ・ 定例会について方針のようなものを出した方がよいのではないのでしょうか(自由裁量なので考えるのが大変そうな印象を持っています)。
- ・ 募金の件を事業計画に記載すべきではないのでしょうか。

- ・ ピーク時に比べ 2/3 程度まで会員が減少しているが、ピーク時同様現在も理事は 10 人体制です。（管理費の削減の観点からも）理事数を減らすことを検討してはどうでしょうか。
- ・ 総会は web 参加でも質問できるようにしてほしいです。
- ・ 理事の投票選出方法について、本名が分からないので、投票で 10 名書けません。どうにかしてほしいです。
- ・ 第二次理事候補を選ぶプロセスを明らかにしてほしいです。
- ・ 会費を上げることを考えていいのではないのでしょうか。
- ・ 財務の数字（集客率や開催率）から組織の傾向を言語化しないと経営改革ができないのではないのでしょうか。
- ・ 第三号議案について、候補者の一覧や紹介があると良いと思います。
- ・ 予算としてはマイナスで立てるべきでないと考えます。NPO 運営が上手くいっていないところは人頼みになっているところだと思います。
- ・ 教育普及事業は本当に黒字といえるのでしょうか。中止になって経費がかからなかったためではないのでしょうか。  
長期低落傾向になっているなどを言語化し総会資料に載せるのもいいと思います。KPI 設定や人を集めることを検討する必要がありそうだと考えます。
- ・ 数字の管理はいいが、どのようにしていきたいのかがもっとわかるようにする必要があると思います。部分によっては赤字が必要などもあるのではないのでしょうか。
- ・ 動議の提案意図は組織や中核人材にやらされ感があるという部分もあったと思うが、結論としてはそこに触れていないのではないのでしょうか。
- ・ 総会資料にグラフなどを活用し見やすくしたら良いと思います。
- ・ 経営における役割分担や得意分野などの体制が分かる資料があると良いと思います。
- ・ 総会資料がおもしろくないです。絵が見えないし、顔が見えないです。
- ・ 総会の運営のグリップをしっかりとしてほしいです。昨年の総会が予定時間を大幅に超えたり、緊迫した状態で、参加した会員で辛いと感じて退席した方もいました。最初に予定した、時間、やり方については、淡々と進めてほしいです。議論をしたいという希望がある場合は、総会の後などに、対話的な会を設けるなど、2 部制にすることも考えてはどうでしょうか。
- ・ 運営に関わるようになれば役員がどんな人かがわかりますが、名前だけではどんな人かわからないので、活動拠点などの情報を明記するなどをしてはどうでしょうか。
- ・ 経費精算システムを導入してくれたことに感謝します。
- ・ FAJ がつぶれてしまったらよくないので、予算管理をして上手く活動してほしいです。
- ・ 議事録などの負荷が個人の努力に依存するようなら、そうならないように考えてほしいですし、会員としても協力したいと思います。
- ・ 昨年の総会で、理事対会員になっているように見えたのが悲しかったです。  
NPO は全員が社員で、自分が何をできるか？を考えて活動することが大事だと思います。  
売上貢献のアイデアをもっと会員にだしてよととってもいいと思います。

## ■ 総会議事資料正誤表

### 1) P12

5. その他の総合的な事業に、「出前授業」を追加します。

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
出前授業	2023/11/28	大阪市立聖和小学校	6	0	74

### 2) P14,15 収支報告

支援・助言事業に対する寄付金が支援・助言事業収入に含まれてしまっていたため、寄付金収入として記載します。また、以下の記載を追加します。

#### ご寄附、ありがとうございました

会計収支報告書にもございます通り、2023年度は、災害復興委員会の活動に対して、寄附金をお預かりしました。この場をお借りして御礼申し上げます。また寄附金はFAJ災害復興委員会が能登復興支援活動を行うにあたり、運営スタッフの活動費に使わせていただいたことをご報告します。

ご寄附いただいた方々：和歌山サロン有志の皆様

次ページ以降に修正後の活動計算書および活動予算実績対比表を掲載します。修正した箇所を下線にて示しています。

### 3) P22 5行目

(誤) 参加のワークショップを主導します。

↓

(正) 参加のワークショップを企画します。

### 4) P25 予算書

ファシリテーション・サミットの予算を修正します。また事業予備費の記載を修正します。次ページ以降に修正後の活動予算書を掲載します。修正した箇所を下線にて示しています。

以上

令和5年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
個人会費	10,238,000		
法人会費	0	10,238,000	
2 事業収入			
調査・研究事業収入	938,111		
教育・普及事業収入	9,443,000		
支援・助言事業収入	5,557,330		
交流・親睦事業収入	1,029,500	16,967,941	
3 寄付金収入			
個人寄付金	15,001		
法人寄付金	0	15,001	
4 助成金	0	0	
経常収入合計			27,220,942
II 経常支出の部			
1 事業費			
調査・研究事業費	5,332,125		
教育・普及事業費	7,664,820		
支援・助言事業費	5,876,465		
交流・親睦事業費	1,757,571		
その他事業費	869,442	21,500,423	
2 管理費			
広報費	0		
交通宿泊費	7,106,990		
会議費	435,060		
事務消耗品費	84,836		
通信運搬費	620,700		
諸会費	61,100		
資料印刷費	566,815		
外部委託料	2,846,026		
支払手数料	511,499		
賃借料	940,933		
保険料	34,722		
租税公課	91,269		
雑費	167,236	13,467,186	
経常支出合計			34,967,609
経常収支差額			△ 7,746,667
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	61,197	61,197	61,197
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計	0	0	0
当期収支差額			△ 7,685,470
前期繰越収支差額			40,598,384
次期繰越収支差額			32,912,914

令和5年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算実績対比表

科目	予算	2023年度計	予算差異	予算比	決算内訳											
					事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	その他	公開セミナー	ファシサポ
<b>I 経常収支の部</b>																
<b>1 経常収入の部</b>																
1 会費・入会金収入																
個人会費	10,650,000	10,238,000	412,000	96.13%												
法人会費		0	0	0												
2 事業収入	10,650,000	10,238,000	412,000	96.13%												
調査・研究事業収入	1,341,000	938,111	402,889	69.96%												
教育・普及事業収入	14,262,770	9,443,000	4,819,770	66.21%		55,515	45,000	22,000	26,000	16,000	16,000	54,396	703,200	9,443,000		
支援・助言事業収入	4,770,000	5,557,330	-787,330	116.51%												
交流・親睦事業収入	1,951,500	1,029,500	922,000	52.75%		69,500	52,500	226,000	38,500	388,800	115,200	132,000		7,000	4,387,330	
3 寄付金収入	22,325,270	16,967,941	5,357,329	76.00%		69,500	108,015	271,000	60,500	414,800	131,200	148,000	54,396	710,200	9,443,000	4,387,330
寄付金	0	15,001	-15,001													15,000
4 助成金等収入	2,300,000	0	2,300,000	0.00%												
民間助成金	2,300,000	0	2,300,000	0.00%												
当期収入合計	35,275,270	27,220,942	8,054,328	77.17%												
<b>I 経常支出の部</b>																
<b>1 事業費</b>																
調査・研究事業費																
会場使用料	3,555,720	1,986,413	1,569,307	55.87%		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	サミット		
事務消耗品費	425,000	238,386	186,614	56.09%		204,535	114,400	244,342	128,671	450,240	109,490	68,345	18,090	648,300		
交通宿泊費	3,010,000	1,547,509	1,462,491	51.41%		9,104	6,904	25,567	71,380	39,629	33,623	19,422	10,162	22,595		
謝礼等	1,949,000	1,042,092	906,908	53.47%		384,640	55,980	162,437	47,462	157,347	154,374	176,154	205,050	204,065		
印刷費	145,000	48,408	96,592	33.38%		0	30,000	275,685	72,274	112,893	0	111,370		439,870		
通信運搬費		25,064				0	4,780	18,615	4,580	11,455	2,680	1,240		5,058		
会議費	350,000	201,108	148,892	57.46%		21,944	740	0	0	0	0	0		2,380		
雑費	544,397	229,617	314,780	42.18%		38,796	9,740	2,160	25,944	74,440	46,168	3,860				
外部委託料	210,000	13,528	196,472	6.44%		3,284	37,542	20,623	14,507	29,542	12,568	11,864	3,950	95,737		
研究開発費	30,000	0	30,000	0.00%		0	0	8,000	0	0	0	0		5,528		
10,219,117	5,332,125	4,886,992	52.18%		662,303	260,086	757,429	364,818	875,546	358,903	392,255	237,252	1,423,533			
教育・普及事業費																
会場使用料	2,270,000	1,279,237	990,763	56.35%										公開セミナー		
事務消耗品費	280,000	213,659	66,341	76.31%										1,279,237		
交通宿泊費	3,500,000	2,172,756	1,327,244	62.08%										213,659		
謝礼等	5,290,080	3,050,606	2,239,474	57.67%										2,172,756		
印刷費	650,000	169,068	480,932	26.01%										3,050,606		
会議費	280,000	135,126	144,874	48.26%										169,068		
通信運搬費		4,240												135,126		
賃借料		28,233												4,240		
雑費	900,000	611,895	288,105	67.99%										28,233		
外部委託料	100,000													611,895		
13,270,080	7,664,820	5,605,260	57.76%											7,664,820		
支援・助言事業費																
会場使用料	465,000	74,750	390,250	16.08%										ファシサポ	災害復興	
事務消耗品費	81,000	10,083	70,917	12.45%										0	74,750	
交通宿泊費	4,510,000	2,925,083	1,584,917	64.86%										9,779	304	
謝礼等	3,780,000	2,538,366	1,241,634	34.82%										964,595	1,960,488	
印刷費	40,000	139,313	-99,313	0.00%										1,447,774	1,090,592	
会議費	8,000													0	139,313	
通信運搬費		10,950													0	10,950
雑費	198,000	177,920	20,080	89.86%										1,224	176,696	
9,082,000	5,876,465	3,205,535	64.70%											2,423,372	3,453,093	
交流・親睦事業費																
会場使用料	1,075,000	662,299	412,701	61.61%		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	グローバル			
事務消耗品費	110,000	155,222	-45,222	141.11%		86,800	55,000	88,400	138,620	155,683	20,250	117,546				
交通宿泊費	850,000	253,979	596,021	29.88%		29,696		8,012	2,489	108,432	6,043	550				
謝礼等	810,000	412,936	397,064	50.98%		63,479	67,780			0	64,270	58,450				
印刷費	114,000	43,779	70,221	38.40%		0		55,000		202,017	44,548	111,371				
会議費	83,000	7,100	75,900	8.55%		8,546	5,263	890	4,717	12,522	3,237	8,604				
雑費	219,000	212,653	6,347	97.10%		15,684	7,077	20,789	5,172	39,270	73,224	15,970	35,467			
外部委託料	230,000	9,603	220,397	4.18%				9,603								
3,491,000	1,757,571	1,733,429	50.35%		204,205	135,120	182,694	150,998	525,024	211,572	312,491	35,467				
その他事業費																
会場使用料	130,000	14,689	115,311	11.30%		協働促進	その他									
事務消耗品費		3,608	-3,608			14,689	0									
交通宿泊費	2,720,000	831,345	1,888,655	30.56%		515,626	315,719									
会議費		19,800				19,800	0									
2,850,000	869,442	1,980,558	30.51%		550,115	319,327										
事業予備費	1,000,000															
事業費計	39,912,197	21,500,423	18,411,774	53.87%												
<b>2 管理費</b>																
広報費	300,000			0.00%	事務局	デジタル	広報									
交通宿泊費	5,042,500	7,106,990	-2,064,490	140.94%	6,618,451	200,636	287,903									
謝礼等	30,000															
会議費	1,735,000	435,060	1,299,940	25.08%	329,790	53,658	51,612									
事務消耗品費	50,000	84,836	-34,836	169.67%	84,836											
通信運搬費	173,100	620,700	-447,600	358.58%	237,350	9,790	373,560									
諸会費	95,000	61,100	33,900	64.32%	61,100											
雑費	82,500	167,236	-84,736	202.71%	123,416		43,820									
資料印刷費	875,000	566,815	308,185	64.78%	169,670		397,145									
外部委託料	5,326,300	2,846,026	2,480,274	53.43%	2,404,266		441,760									
支払手数料	500,000	511,499	-11,499	102.30%	511,499											
賃借料	1,007,840	940,933	66,907	93.36%	940,933											
租税公課	330,000	91,269	238,731	27.66%	91,269											
保険料	55,000	34,722	20,278	63.13%	34,722											
予備費																
管理費計	15,602,240	13,467,186	2,135,054	86.32%	11,607,302	264,084	1,595,800									
当期支出合計	55,514,437	34,967,609	20,546,828	62.99%												
<b>II その他資金収入の部</b>																
その他資金収入合計		61,197	-61,197													
当期収支差額	-20,239,167	-7,685,470	-12,553,697	38.0%												

2024年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書

単位＝円

前年度の予算適正化の検討の結果、FAJの支出規模が実際に収入規模を上回る構造であることが確認できました。  
 今年度までは、収支構造による赤字予算を継続しますが、今後抜本的な見直し方の検討を実施し、来年度の収支バランス適正化に向けて準備を進めます。

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目	2024年度予算		予算内訳										
	事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	公開セミナー	サミット	ファシサポ	災害復興	
<b>I 収入の部</b>													
1 会費収入													
個人会費収入	10,840,000	10,840,000											
法人会費収入													
	10,840,000	10,840,000											
2 事業収入													
調査・研究事業収入	1,402,800		49,500	36,000	24,000	30,000	20,000	20,000		1,223,300			
教育・普及事業収入	12,234,000								12,234,000		4,400,000	1,490,000	
支援・助言事業収入	5,890,000												
交流・親睦事業収入	1,666,000	215,000	186,000	200,000	230,000	390,000	125,000	320,000					
その他事業収入													
	21,192,800	215,000	235,500	236,000	254,000	420,000	145,000	340,000	12,234,000	1,223,300	4,400,000	1,490,000	
3 寄付金収入													
個人寄付金													
法人寄付金													
4 助成金等収入													
民間助成金	500,000											500,000	
	500,000											500,000	
収入合計	32,532,800	10,840,000	215,000	235,500	236,000	254,000	420,000	145,000	340,000	12,234,000	1,223,300	4,400,000	1,990,000
<b>II 支出の部</b>													
1 事業費													
調査・研究事業支出		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州		サミット	サロン	プロジェクト	
会場使用料	2,635,022	222,200	93,250	580,000	210,000	395,000	119,000	52,110		823,462	140,000		
事務消耗品費	266,000	20,000	8,000	72,000	65,000	40,000	15,000	12,000		20,000	14,000		
交通宿泊費	1,785,000	290,000	50,000	150,000	200,000	140,000	150,000	90,000		280,000	435,000		
謝礼等	1,400,000	55,000	60,000	350,000	224,000	56,000	50,000	50,000		605,000			
印刷費	130,400	10,000	6,400	60,000	5,000	12,000	7,000	10,000		20,000			
会議費	250,000	33,000	12,000	10,000	40,000	115,000	30,000	10,000					
雑費	341,000	20,000	40,000	40,000	20,000	27,000	10,000	12,000		172,000			
外部委託料	75,000			20,000		55,000							
	6,882,422	650,200	269,650	1,282,000	764,000	840,000	331,000	236,110		1,920,462	589,000		
教育・普及事業支出									公開セミナー		サロン詳細		
会場使用料	2,250,000								2,250,000		【サロン：(地域型)12/ (テーマ型)2】会場使用料 (各1万*17)、事務消耗品 費(各0.1万*17)、交通宿 泊費(地域型、テーマ型： 各3万*16、沖縄：4.5万)		
事務消耗品費	186,000										186,000		
交通宿泊費	3,000,000										3,000,000		
謝礼等	4,200,000										4,200,000		
印刷費	530,000										530,000		
会議費	186,000										186,000		
雑費	727,000										727,000		
外部委託料	50,000										50,000		
	11,129,000								11,129,000				
支援・助言事業支出											ファシサポ	災害復興	
会場使用料	385,000										45,000	340,000	
事務消耗品費	86,000										22,000	64,000	
交通宿泊費	4,320,000										1,350,000	2,970,000	
謝礼等	2,850,000										2,000,000	850,000	
印刷費	35,000											35,000	
会議費	3,000											3,000	
雑費	240,000										2,000	238,000	
	7,919,000										2,000	238,000	
交流・親睦事業支出		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	グローバル				
会場使用料	1,065,000	100,000	65,000	100,000	230,000	300,000	50,000	120,000	100,000				
事務消耗品費	95,000	10,000	5,000	30,000	10,000	10,000	10,000	20,000	20,000				
交通宿泊費	520,000	100,000	50,000	10,000	40,000	100,000	60,000	60,000	100,000				
謝礼等	680,000	56,000	56,000	56,000	112,000	200,000	100,000	100,000	100,000				
印刷費	102,000	14,000	8,000	30,000	10,000	20,000	10,000	10,000	10,000				
会議費	55,000	5,000	20,000	10,000	10,000	10,000	10,000						
雑費	198,000	15,000	10,000	50,000	35,000	20,000	12,000	6,000	50,000				
外部委託料	40,000	10,000				30,000							
	2,755,000	310,000	214,000	286,000	447,000	690,000	142,000	316,000	350,000				
その他事業支出									協働促進				
会場使用料	50,000								50,000				
事務消耗品費													
交通宿泊費	310,000								310,000				
謝礼等													
印刷費													
会議費													
雑費													
	360,000								360,000				
事業予備費	1,500,000	1,500,000											
事業費計	30,545,422	1,500,000	960,200	483,650	1,568,000	1,211,000	1,530,000	473,000	552,110	11,839,000	1,920,462	4,008,000	4,500,000
2 管理費		事務局	デジタル	広報	事務局詳細								
広報費	100,000	100,000			パンフ改訂・印刷10万								
交通宿泊費	3,042,000	2,200,000	542,000	300,000	(理事会)総会20万、理事会20万×3、合宿20万、拠点訪問20万×2、新役員候補10万×3、(事務局)総会10万、リアルMTG20万、陪席20万								
謝礼等													
会議費	317,110	200,000	107,110	10,000	(理事会)合宿20万								
事務消耗品費	50,000	50,000			名刺代4万、その他備品消耗品1万								
通信運搬費	95,790	86,000	9,790		郵便6万、電話2.6万								
諸会費	60,000	60,000			JVOAD5万、日本NPOセンター1万								
雑費	300,000		10,000	290,000									
資料印刷費	575,000	225,000		350,000	資料15万、封筒7.5万								
総会関係費用													
外部委託料	3,646,200	3,404,200	42,000	200,000	会計事務120万、税務25.2万、決済サービス63万、登記15万、会員管理44.22万、経費精算73万								
支払手数料	500,000	500,000			振込手数料25万、EB使用料5万(2.5万×2)、会費払込手数料20万								
賃貸料	1,007,840	1,007,840			家賃675,840(56,320×12か月)、倉庫(中部、関西)28.6万、セミナー倉庫代3万、その他1.6万								
租税公課等	330,000	330,000			法人税均等割7万、消費税26万								
保険料等	35,000	35,000			NPO損害保険3.5万								
管理費計	10,058,940	8,198,040	710,900	1,150,000									
支出合計	40,604,362												
当期収支差額	-8,071,562												
前期繰越収支差額	32,912,914												
次期繰越収支差額	24,841,352												